



慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート主催
アーミテージ氏記念教育事業

「アーミテージ・プログラム：堅固な日米関係のための新しい基盤構築」 シンポジウム

米国のトランプ新政権は世界各国に波紋を広げており、東アジアでも例外ではありません。政権成立前には日米関係の緊張も予想されていましたが、今のところは日本の安倍政権とも良好な関係の構築に成功しています。しかし、今後の東アジア情勢の展開次第では、難しい決断を両国政府が迫られる可能性も残っています。

米国新政権の下で日米関係がどうなるのか、リチャード・アーミテージ元米国国務副長官をお招きし、パネル討論を行います。

開催日時 2017年5月26日（金）15:00～17:45（14:40受付開始）

場 所 慶應義塾大学三田キャンパス 三田演説館

言 語 日本語、英語（同時通訳あり）

対 象 義塾関係者・大学院生・学部生 ※学外の方の参加も歓迎します。

申 込 下記ウェブサイト（一般申込受付）から申込をお願いします。
https://www1.gsec.keio.ac.jp/secure/participant/register_start/127/1

Japan –U.S Relationship under the New American Administration

米国新政権下の日米関係

<プログラム>

開会挨拶 駒村圭吾（常任理事，KGRI所長）

記念講演 リチャード・アーミテージ

----- 休憩 -----

パネルディスカッション

パネリスト リチャード・アーミテージ

添谷芳秀（法学部教授）

秋田浩之（日本経済新聞社本社コメンテーター）

モデレーター 細谷雄一（法学部教授）

全体進行 土屋大洋（大学院政策・メディア研究科教授）

